

健康の ススメ

今回のドクター

医学博士
古嶋 博司



テーマ

麻しん(はしか)への心構え、 大丈夫ですか？

今年3月、沖縄県で麻しん(はしか)の患者が発生し、愛知県、福岡県でも相次いで麻しん患者の発生が報告され話題となりました。現在、流行は終息していますが、今後も流行する可能性があります。

麻しんはウイルスによって引き起こされる急性感染症で、本来は子どもに多い病気です。麻しんウイルスは人から人へ空気感染するので、非常に感染力が強く、その強さはインフルエンザの10倍以上です。免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症し、一度発症すると一生免疫が持続するといわれています。かつては子どものうちに罹患して免疫を得て、成人では罹患しないというケースがほとんどでしたが、大きな流行が無い現在、成人になるまでに麻しんにかかったことがない人や、小児の時に予防接種をしたという人でも、成人になって感染する例が目立ってきました。そして成人で発症すると重症化する例もあり、問題となっています。

麻しんは予防接種が有効で、1978年から定期接種となりました。しかし当初は1回だけの接種だったため、大きな麻しんの流行が見られなくなってからは、接種後に麻しんにさらされ、免疫力を増幅させる機会(ブースター効果)が少なくなり、免疫力が維持できなくなりました。そのため、1回接種のみの「空白の世代」(1978年から1990年生まれ)では、麻しんに感染する可能性があるのです。「空白の世代」は予防接種を受けることを検討した方がいいでしょう。そうではない人でも医療機関で簡単に検査できます。

予防接種をする場合は、麻しんワクチンを受けますが、風疹ワクチンとの混合のMRワクチンでもいいでしょう。ただし、妊婦の方は接種できませんので、医師に相談しましょう。

内科・循環器内科 ふるしまクリニック



診療科目/内科・循環器内科
診療時間/月・火・木・金曜日 9:00~12:30、15:00~18:00
水・土曜日 9:00~12:30
休診日/日曜、祝日
所在地/中央区姥ヶ山5-6-20
電話/025-257-7070

[ふるしまクリニック](#) [検索](#)